



# 気仙沼市 社協だより

編集  
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

《公式ホームページ》<http://kesenuma-shakyo.jp/>

《スマートフォン用QRコード》

スマホをお持ちの方は、こちらからホームページを見ることができます。



本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2  
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467  
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)  
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052  
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6  
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241  
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp



## 先輩たちの積み重ねた活動を大切に

塚沢サロンでは、月立小学校周辺の花壇の手入れと、ガードレール清掃など環境整備をしています。メンバーは「花壇の手入れは、子供達にきれいな花を見せたくて。」「老人クラブで行っていた活動をサロンで行っているの。できることをできる時に行う奉仕の気持ちを大切にしています。」と笑顔で話していました。

自分のできることを継続することで体力づくりになり、その活動で地域がより明るくなるそうです。自分のこと、地域のことを語り合うことのできる仲間は素敵ですね。



# ボランティアってなんですか

ボランティアは、年齢や性別を問わずに誰でも参加できる活動です。「誰かの役に立ちたい!」「困っている人を手伝いたい!」という気持ちさえあれば、いつでもどこでも始めることができます。自分の趣味や特技などを活かして、できることをできる範囲で行うものがボランティアです。

まずは身近なところに関心を持ち、「これならできそう!」ということから活動を始めてみませんか?

## ● ボランティア活動で大切なこと

- 興味や関心のある身近なことから始めよう!  
自分の身近なところで、気付いたこと、できることから始めてみましょう!  
無理せず、続けることが大切です。
- 約束・ルールは必ず守ろう!  
プライバシーや秘密を守ることが必要です。
- 相手や関係者の立場を尊重しよう!  
ボランティア活動は、ひとりよがりであったり、押しつけであったりしてはいけません。常に相手の気持ちを考えて活動しましょう。そうすることによって、お互いの信頼関係が生まれます。



## ● どんな活動があるの?

- 高齢者・障がい者を対象とした活動  
福祉施設でのお手伝いやお話し相手、見守り活動など
- 子どもや青少年を対象とした活動  
レクリエーション活動、野外活動など
- 自然や環境を守るための活動  
地域の清掃活動、リサイクル活動など
- 安心・安全なまちづくりの活動  
交通安全活動、防災活動、防犯活動など
- 各種イベント等の運営スタッフの活動  
地域のイベントや交流会への協力など



## ● 災害ボランティア活動とは

災害ボランティアは、災害により被災された方や地域が元の生活に戻れるように支援する活動です。家屋の片付けや炊き出しなどの直接的な復旧支援だけでなく、災害ボランティアセンターの運営のお手伝い、被災者同士の交流の機会作りや被災者への寄り添いなど、様々な活動があります。

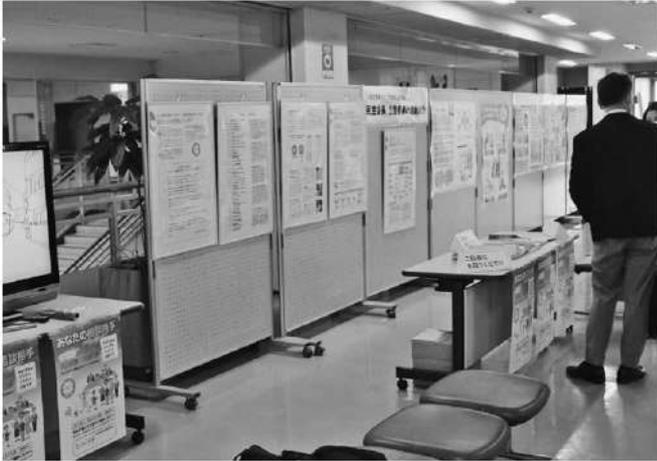
※災害ボランティア活動に参加したいと思ったら※

災害直後の被災地では、様々な機関が被災状況の把握や人命救助、インフラの復旧などを行っています。突然被災地に向かっても、救援活動の妨げになったり、交通機関の運休などで身動きが取れなくなったり、現地に着いてもボランティアの募集が行われていない場合もあります。

事前に被災地の災害ボランティアセンターなどのホームページで状況を確認し、万全の準備でボランティア活動に参加しましょう。



お問合せ：気仙沼市社会福祉協議会 電話 22-0709



## 民生委員の日 活動強化週間事業

# 民生委員・児童委員活動 パネル展を開催しました

気仙沼市民生委員児童委員協議会では、広く住民の皆さんに民生委員制度や役割についての理解を深めていただくことを目的に、去る5月12日から18日まで、市役所ワンテン庁舎内情報プラザにおいて活動パネル展を実施しました。これからも身近な相談相手として、民生委員・児童委員が皆さんの生活に寄り添いながら安心して暮らせる地域づくりをお手伝いします。

あなたの近くの民生委員・児童委員については下記までご連絡ください。

### 【問合せ先】

- ・市社会福祉課 22-6600 (内線431)
- ・市民生委員児童委員協議会事務局 22-0709

# 地区社会福祉協議会会長会議を開催しました

令和3年5月12日、地区社協会長会議を開催しました。市内には16の地区社会福祉協議会があり、その地域に根差した様々な地域福祉活動を展開しています。

会議では、地区社協との協働・連携事業として、支え合いの体制づくりの充実・強化を図ることを目的とした生活



支援体制整備事業や地区社協支援の取り組みのほか、コロナ禍での地域のつながりづくりを進めるための本会からの企画・提案について説明を行いました。出席者からは、今年度の助成金の見通しや、市社協事業の進捗状況、社協会費の取り扱い等についての質問がありました。

地区の特性や状況は様々ですが、本会としては、今後も地区社協との情報共有を進め、また地区社協間の情報交換の場を設けながら、その地区に合った活動を一緒に考え、取り組みの支援をしてまいります。

3

「心配ごと」  
「困りごと」の相談は…

・ふれあい相談センター【場所・市社会福祉協議会本所】  
電話22-0709(月・火・水・金・9時~15時)でお受けしております。(祝日はお休み)



# はじめよう！ ひろげよう！ 支え合いの地域づくり



## 気仙沼市生活支援体制整備事業

本会では、気仙沼市より生活支援体制整備事業を受託し、地域支え合い推進員を配置して、みんなで作る支え合いの地域づくりに取り組んでいます。

推進員が地域に訪問するなかで、住民同士が楽しく元気に、ふれあいや支え合い活動に取り組んでいる姿をたくさん見つけています。

ここでは、見つけた支え合いの活動「**地域のお宝**」を紹介し、推進員が感じた「**ここがイチ押し!**」を添えてお届けします。

### 「地域のお宝」とは…

普段の暮らしのなかで、当たり前に行われていることが、実は見守りや情報交換、つながりづくりや支え合い、助け合いの場になっています。このような活動をこの事業では「**地域のお宝**」と呼んでいます。



## 松岩地区 ▶ 平貝自治会「広報配付を活用した地域見守り活動」

平貝自治会では今後も増加が予想される高齢者のみの世帯や日中高齢者だけで暮らす世帯等の中で、定期的な見守りを希望される世帯を対象にした新しい地域活動をスタートさせています。

毎月の広報配付に合わせて、班長が見守り希望世帯への声かけや班内の世帯に変化がないかを見守りシートにチェックした後、福祉部による「見守り会議」において状況を共有しています。対応が必要な事柄については自治会で取り組むほか、専門機関と協力して解決につなげています。



ここが  
イチ押し!

今あるカタチを活かしながら、  
負担が少なく効果が見える工夫を!

### ▶ 役割に気づきをプラス

毎月の広報配布時に、班内の各世帯を意識して見廻ってもらうことで、問題の早期発見や解決につなげています。





## 階上地区 「最知高グラウンド・パーク愛好会」

最知高自治会では、「グラウンドゴルフをやりたい。」という多くの声上がり、有志の皆さんで令和3年3月末に最知高グラウンド・パーク愛好会を結成しました。



現在の会員数は20名。新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、家で過ごす時間が長くなっていますが、広いグラウンドでのびのびと運動することで、心も体もリフレッシュ。みなさんイキイキと目を輝かせながら、楽しく健康づくりに取り組んでいます。



コロナ禍に負けず、自分たちで団体を立ち上げ、地域にまたひとつ新しい交流の場が生まれています。地域の情報交換の場にもなっています。

## 唐桑地区 「鮪立クラブ」

鮪立クラブは、毎月第1・第3木曜日、鮪立老人憩いの家を会場に活動しています。

今回は、社協職員とともに海潮音体操で体を動かした後、「うるせえスターズ」と「しずかなスターズ」の2チームに分かれて、レクリエーションを楽しみました。結果は引き分けとなりましたが、得点が入るたびに歓声が起こり、盛り上がっていました。



参加者からは、「海潮音体操は、社協の皆さんに教わったことを思い出しながら行っています。」「レクリエーションでは、集中力や全身を使って疲れましたが、それ以上に楽しかったです。」といった声があり、賑やかなひと時を過ごしました。



現在は、新型コロナウイルス感染予防対策として、マスクの着用や適宜換気を行い、参加者同士なるべく距離をとることなどに注意しながら、活動が継続できるような取り組みも実践しています。



介護予防体操、レクリエーション、研修会など色々企画し、無理のない範囲で参加していることが活動の継続に繋がっています。



## 気仙沼市社協地域支え合い活動推進モデル地区社協 中間報告

### 上地区「上地区社会福祉協議会」



上地区社会福祉協議会では、令和2年10月より「上地区みんなで取り組むフレイル予防からの見守り、繋がり推進事業」に取り組んでいます。

上地区では、地区内にあったスーパーの閉店により、住民の方から買い物が困難になったとの声が上がリ、駅前コミュニティセンター管理運営委員会の協力と後押しにより、令和2年7月から市内大型スーパーの移動販売車が駅前コミュニティセンターへ来ることとなりました。

地区社協執行部会では、移動販売の際に「フレイル予防（脆弱予防）の注意喚起ができないか」と考え、理事会にて提案・協議した結果、移動販売に合わせ「青空喫茶店」を実施することとなりま

した。コロナ禍の中、感染予防対策をしながら、フレイル予防の啓

発以外にも様々な工夫をし、月1回継続的に開催しています。

また、令和2年度に実施した住民懇談会開催後、懇談会についてアンケートを行い、その結果について報告会を開催しま

した。地域の声を整理してみると「地域活動をしている団体は多くあるが、お互いの活動は意外に知らない」ことがわかりました。

このことから、団体同士の連携を図りながら地域の課題を共有したいと考え、今年3月に「上地区関係団体情報交換会」を開催しました。地区社協の小山会長は「情報交換から生活課題解決へのヒントが得られることを期待しています。」と話していました。



### 鹿折地区「鹿折地区振興協議会」



鹿折地区社会福祉協議会では、鹿折地区振興協議会の「鹿折子ども見守り隊」でモデル指定を受け、活動を進めています。コロナ禍で、イベントがほとんどなくなり、地域活動を再考するタイミングで、昨年10月、鹿折地区全体で実施に向けた話がまとまりました。

現在、鹿折地区では、朝の登校時や昼の下校時に、黄色のユニフォームを着た地域の方々が見守りを行っています。



散歩や庭の草取りなど、何かをしながらのながら見守りにも取り組んでおり、鹿折地区在住の方であればごなたでも参加できます。

見守り活動を通して地域内の連携が深まり、子どもたちにもいたわりの気持ちやうまれ、地域では災害時の連携体制と、防犯力の強化など犯罪の抑止効果にもつながります。また地域の社会参加、生きがいづくり、フレイル予防、介護予防にもつながります。

今後も活動の継続により、地域の輪が広がっていきます。



## 絵本カフェ架け橋「気仙沼おでってMAP」が できました



絵本カフェ架け橋では、気仙沼市内で配達や送迎などを行っている店舗などの情報を1冊にまとめた『気仙沼おでってMAP』を作成しました。

元々は産前産後のママたちのためにと始めた情報収集でしたが、高齢者や車を使えない方々の助けにもなれば、とマップを発行することにしたそうです。

マップは本会をはじめ、公民館、市民福祉センターやすらぎ等で配布されています。

【お問合せ】 絵本カフェ架け橋 電話 25-7739

## 新型コロナウイルス感染症の影響による 特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)受付期間延長のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり緊急かつ一時的な生活維持のための特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の受付期間が、令和3年6月末まで延長になりました。

緊急小口資金

- 貸付額：20万円以内
- 据置期間：1年以内
- 返済期間：2年以内

総合支援資金

- 貸付額(貸付期間：原則3月以内)  
単身世帯 月額15万円以内で最大45万円  
2人以上世帯 月額20万円以内で最大60万円
- 据置期間：1年以内
- 返済期間：10年以内

◎総合支援資金の貸付期間が終了した後も引き続き収入の減収が続いている場合は、総合支援資金の再貸付も同様に受け付けています。

詳しくは気仙沼市社協(電話 22-0709)までお問合せください。

## 気仙沼市社協オリジナルマスコットキャラクター デザイン募集期間延長!!!

本会を「地域の皆さんにもっと知ってもらいたい!」「身近に感じてもらいたい!」という思いと、更なる地域福祉の推進を図るため、地域の皆さんに愛されるようなマスコットキャラクターのデザインを大大大募集中!!



【応募締切】 令和3年7月31日

※市内・外、プロ・アマ問わず  
どなたでもご応募いただけます。

詳しくは、ホームページから募集要項をご覧ください。本会(電話 22-0709)までお問合せください。



# 「新しい生活様式」に基づいて 小地域福祉活動を進めましょう

コロナ禍でも地域のつながりを進めるため、感染リスクをできるだけ避けながら、皆さんが安心して開催・参加できるように、できることから少しずつ取り組みましょう。

## 地域の集いやサロン編

できるだけ  
避けましょう



みんなで話し合っ、工夫してみましょう



活動の時は  
マスクを着用しましょう



密や熱中症に注意しましょう。

(十分な距離を取り、密を避けましょう。  
長時間の活動は避け、こまめな水分  
補給など熱中症に注意しましょう。)



## 集まれなくてもつながる編

電話でつながろう

これまで活動に参加していた  
方の安否確認やメンバー同士  
のコミュニケーションのために、  
個別に連絡する  
ことはお互いの  
安心感につな  
がります。



届けもの・手紙で  
つながろう

集いの参加者に向けて、自宅  
でできる体操や脳トレなどを配  
付するのも良いかもしれませんが。  
配付時に家の  
様子や暮らし  
の変化に気づ  
くことができます。



あいさつでつながろう

庭先や窓越しなど、距離を置  
きながら、近所の人とのあいさ  
つや声をかけ合ひましょう。

距離をとっても  
心はぐーっと  
近くに♪



社協は地域と共に活動します。いつでも ご相談・ご連絡ください。

ご意見・ご感想など、お待ちしております。

TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467 E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp



この広報紙は「赤い羽根」  
共同募金の配分等によっ  
て作成しました。